

研 究 結 果 報 告 書

所属 華中科技大学外国語学部

氏名 黄 均鈞

【研究テーマ】

21世紀以来の中国大学日本語専攻卒業生のキャリア発展の実態調査

【研究結果】

近年、グローバル規模で仕事の世界に急速な変化が起こっている。その特徴の一つとして、伝統的なタイムテーブルに基づくキャリア形成のパターンがますます個別化し、多様化していることが挙げられる。本調査は、中国の大学で日本語を専攻した卒業生に焦点を当て、2001年から2020年までの間に卒業した1,165名を対象に、キャリア形成の現状とその変化を、大学時の日本語学習歴、卒業後の職歴、転職状況の3つの側面から明らかにした。

その結果、大学時代の履修パターンと現職との関係、日本語関連のインターンシップの推移、海外留学の推移と主な専攻、卒業生の多様な職種と就職先、卒業生の転職歴とその理由、職場での日本語接触とその使用の推移といった6つの部分について詳細に分析した。

紙幅の都合上、詳しく論じないことにするが。注目すべきこととして、1) 日本語関連のインターンシップがここ20年間に徐々に減少すること、2) 販売、教育、事務関連の仕事に従事している卒業生が最も多いこと（全体の約37%を占める）、3) 大学時代の履修パターンと卒業後の職種との間で一定の関連性が見られること、4) 年度の古い卒業生のほうが日本語を武器にした就職先が多く、近年卒業生の就職先や仕事内容がますます多様化していること等があげられる。

分析結果に基づいて、1) 日本語人材の育成には、企業、卒業生、教育機関の連携が必要であること、2) 専攻者が自身のキャリア形成における多様性と可能性を可視化するためには、キャリア日本語教育が必要であること、3) キャリアの多様化と流動化の時代において、日本語専攻者に問われる資質を再考すべきであることを提言した。

研究成果の公表について(予定も含む)

口頭発表 (題名・発表者名・会議名・日時・場所等)

2001-2020年中国大学日语专业毕业生生涯发展状况调查・黄均钧・首届日语语言学创新研究青年学者论坛・11月2-3日・北京大学

論文 (題名・発表者名・論文掲載誌・掲載時期等)

中国の大学における日本語専攻卒業生(2001～2020年度)のキャリア形成に関する調査・黄均均、陳玲等・専門日本語教育
(現時点では修正採用の結果を得た。採用されたら2024年末公開)

書籍 (題名・著者名・出版社・発行時期等)

《中国大学日语专业学生生涯发展状况与教学干预研究》・黄均钧・武汉大学出版社・2026年(暂定)